

田原本町第四次総合計画後期基本計画及び田原本町まち・ひと・しごと創生 総合戦略策定に係る現状の課題と策定に向けた整理事項

総合計画と総合戦略の整合性

前期基本計画と現総合戦略とを比較すると、策定期間が異なるため一部内容で整合性が取れておらず運用に支障が生じている。次期計画では、総合計画が町の最上位計画に位置付けられていることに留意したうえで、次期総合戦略を後期基本計画内の地方創生に関する施策を重点的に盛り込んだものとして位置付け、1つの計画に双方の計画内容を記載する。

効果検証のしやすさ

前期基本計画では、指標の一部に国の統計調査のタイミングでしか計測できないものを設定するなど、毎年度計測できないものが含まれている。それにより進捗管理や効果検証が難しくなっている箇所があるため、後期基本計画では毎年度各部署により検証のできる指標の設定や計測できる仕組みを整理のうえ、検証に係る負担の少ない手法を導入し、計画策定の目的の一つである進捗管理及び効果検証を効果的にやっていく。

住民にも伝わりやすい内容

総合計画は町の最上位計画として町が実施する施策、事業を示す目的がある以上、より幅広い住民に伝えられるように内容・レイアウトについても十分に検討を行い、庁内外の理解を深め計画の認知度の向上を図る。

政策・施策と指標の整合性

前期基本計画では基本構想で定める基本目標及び政策の実現に向け、施策、方針、現状と課題、主な取り組み及び指標を定めているが、項目が細かく分断され一部で整合性も取れていない。次期計画ではそれらを整理し実効性を高める。

地域課題に対する新たな手法への対応

国のまち・ひと・しごと創生基本方針等で示されているように、持続可能な町の運営に向けSDGsの観点を盛り込み、また、地域課題の解決や効率的な町政運営に向けてSociety 5.0などの新たな手法の導入を積極的に行っていく。